学校番号	408

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　精選言語文化」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は三つの対話（教材との対話・自分との対話・他者との対話）に取り組みましょう。
・失敗や間違いこそ大事な学びです。普段の授業は練習試合、一緒に学ぶクラスメイトはライバルであり、チームメイトでもあります。協働しながら、学びを深めていきましょう。
・学んでいったことから、更に自ら問いを立てながら、学びを広げていきましょう。読書は皆さんの世界を広げるための大きな手段となります。
・授業の中のみならず、皆さんの周りにある普段の「言葉」から意識を向けてみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の言語文化が歴史の中で継承されてきたことを知り、生涯にわたる社会生活に必要な語句や語彙を増やし、修辞を意識して表現に活かすことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
文章で工夫して伝え合おうとする中で、また、文章の特徴に注意しながら、要旨を把握したり、解釈を深めたりする中で、自分の考えを形成し、表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
国語の学びを通して、他者の様々な読み取りや考えがあることや言葉の持つ価値への認識を深め、読書に親しみながら、その中で言葉を通じて自己の意見を確立する姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の言語文化が歴史の中で継承されてきたことを知り、生涯にわたる社会生活に必要な語句や語彙を増やし、修辞を意識して表現に活かすことができている。	文章で工夫して伝え合おうとする中で、また、文章の特徴に注意しながら、要旨を把握したり、解釈を深めたりする中で、自分の考えを形成し、表現できている。	国語の学びを通して、他者の様々な読み取りや考えがあることや言葉の持つ価値への認識を深め、読書に親しみながら、その中で言葉を通じて自己の意見を確立しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典入門 【古文の読み方】 ［教材］宇治拾遺物語「児のそら寝」「絵仏師良秀」	a：古文を読むために必要な文語の決まり、文字や言葉の変化について理解を深める。 b[読]：内容や展開について叙述を基に的確に捉えることができる。 c：古文を楽しむことについて主体的に考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査	学びの地図
	小説入門 【小説の読み方】 ［教材］羅生門・今昔物語集	a：言語文化に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：原典との比較を踏まえ、内容の解釈および評価を深めることができる。 c：小説を楽しむこと、人間の本質について主体的に考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学びの地図 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
2学期	漢文入門・故事成語 【漢文の読み方】 ［教材］漁父之利　狐借虎威　蛇足	a：訓読の決まりや、我が国と外国の文化や言語のつながりについて理解を深める。 b[読]：内容や展開について叙述を基に的確に捉えることができる。 c：漢文を楽しむこと、我が国の言語文化の成立について主体的に考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学びの地図 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	歌物語 【「歌」と物語】 ［教材］伊勢物語「芥川」「筒井筒」 大和物語	a：古典特有の表現や語彙について理解を深める。 b[読]：他の作品との比較を通じて、展開や表現について評価することができる。 c：他者の考えを踏まえて、言葉を工夫して表現することについて主体的に考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学びの地図 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
3学期	短歌・和歌 【「歌」を詠む】 ［教材］ゆびさきの温みを	a：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法について理解を深める。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫して歌を詠むことができる。 c：他者の評価を踏まえて、言葉を工夫して表現することについて主体的に考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学びの地図 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	小説 【文学を読むこととは】 ［教材］城の崎にて・I was born.	a：言語文化に特徴的な語句の量を増やし、読書の意義と効用について理解を深める。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自らのものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：他者の考えを踏まえて、生と死、人間について主体的に認識を深めようとしている。	定期考査	定期考査 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学びの地図 ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　5）時間

・読むこと　…　（６０）時間